

伊仙支部 徳島班

仲田研修医 医療講話

12月20日(火) 午後19時より伊仙支部徳島班(組合員8名・職員2名)で「高血圧のはなし」について仲田太郎研修医が行いました。「長寿の秘訣は血圧改善が大切、血圧が下がると脳卒中になる人が減少するので長寿につながります」と優しい語り口調での講話に耳を傾けている組合員さん。「血圧手帳を活用しましょう」との言葉にすかさず反応「手帳もらったけど、どこにいったかねえ」と苦笑い。講話後は「今度から血圧手帳利用せんといかんね」の言葉が聞かれました。その後は、班恒例の三味線に島唄を聞きながら、珍しいアザミと豚肉の野菜煮、新じゃがの煮ころがし等々お腹も満たされ、今年最期の班会は”良いお年をお迎え下さい”の言葉でお開きとなりました。

仲田先生講話
”高血圧のはなし”



講話終了後、満野さんの三味線と島唄を聞きながら”アザミと豚肉の煮物・厚揚げ、そら豆、大根&人参&雑魚の酢の物、ふくれがし等美味しく頂きました～＼(^o^)/